

安全の為に必ずお守りください。

警告

- 製品を取付ける際は、必ず取扱説明書等に示している指示を守ってください。
- その際、シマノ純正部品の使用をお勧めします。またボルトやナット等が緩んだり、破損しますと突然に転倒して怪我をすることがあります。
- 製品を取付ける際は、必ず取扱説明書等に示している指示を守ってください。
- 調整が正しくない場合、チェーン外れ等の発生により、突然に転倒して怪我をすることがあります。
- 取扱説明書はよくお読みになった後、大切に保管してください。

使用上の注意

- 円滑な操作のため、指定ケーブル及びB.B.ガイドをご使用ください。
- インナーケーブルとアウターケーブルの摺動部分が、グリス潤滑された状態で使用してください。
- インナーケーブル内蔵フレームは、ワイヤー効率が悪くSISが働きにくいいため、ご使用できません。
- 変速に関係するすべてのレバー操作は、必ずフロントチェーンホイールを回しながら行ってください。
- アウターケーブルはハンドルを一杯に操舵しても余裕がある長さのものをご使用ください。また、ハンドルを一杯に操舵した時に変速レバーがフレームに接触しないことを合わせて確認してください。
- 変速ケーブル(SIS-SP41)には専用グリスを使用しています。DURA-ACEグリスや他のグリスを使用すると変速機能が低下します。
- インジケータース部及びシフティングレバーユニットの分解はしないでください。故障の原因となります。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗及び品質の劣化は保証いたしません。
- 取扱方法及びメンテナンスについて疑問のある方は、購入された販売店にご相談ください。

ご使用方法

SI-6KLOA-001

SL-R770

シフティングレバー

機能を十分に発揮させるために、次のラインナップによる使用を推奨いたします。

シフティングレバー	SL-R770
アウターケーブル	SP41
スピード	20
フロントディレイラー	FD-R770
フロントチェーンホイール	FC-7800 / FC-6600 / FC-5600
リアディレイラー	RD-7800 / RD-6600 / RD-5600
フリーハブ	FH-7800 / FH-6600 / FH-5600
カセットスプロケット	CS-7800 / CS-6600 / CS-5600
チェーン	CN-7801 / CN-6600 / CN-5600
B.B.ガイド	SM-SP17

シフティングレバー	SL-R770
アウターケーブル	SP41
スピード	30
フロントディレイラー	FD-R773-2 : FC-7803 / 6603 (52Tトップギア対応) FD-R773-0 : FC-5603 (50Tトップギア対応)
フロントチェーンホイール	FC-7803 / FC-6603 / FC-5603
リアディレイラー	RD-7800 / RD-6600 / RD-5600
フリーハブ	FH-7800 / FH-6600 / FH-5600
カセットスプロケット	CS-7800 / CS-6600 / CS-5600
チェーン	CN-7801 / CN-6600 / CN-5600
B.B.ガイド	SM-SP17

この取扱説明書は、ご購入された自転車に装着されているシマノ製自転車部品の取扱い方法を説明しています。ご購入された自転車およびシマノ製自転車部品以外に関するご質問はご購入先または自転車製造元へのお問い合わせをお勧めいたします。

* 取扱説明書は下記にてご覧いただけます。
<http://techdocs.shimano.com>

製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

お客様相談窓口
☎ 0570-031961 Fax. 072-243-7847

株式会社シマノ
新市南区老松町3丁目77番地 〒590-8577

レバー部の取付け

ハンドルグリップは最大外径が
φ32mm以下のものをご使用ください。

- ブレーキ操作と変速操作に支障をきたさない位置に取付けてください。
- ブレーキ操作に支障をきたす場合は組合わせ使用しないでください。
- カーボンハンドルの場合には、ハンドルへの損傷を防ぐために締め過ぎないようにご注意ください。適切なトルク値に関しては完成車メーカーまたはハンドルメーカーでご確認ください。

変速操作方法

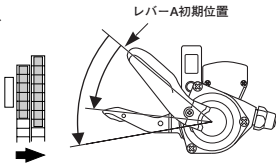
レバーA、Bとも、変速完了後指を離すと必ずレバー初期位置に戻るようにになっています。レバー操作時には、必ずクランクを回しながら操作を行ってください。

＜フロント側＞

小ギアから大ギア方向への変速

1回の操作で小ギアから大ギア方向へ一段変速します。

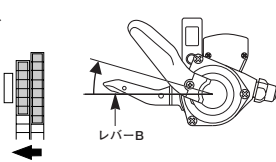
例：中間ギアから最大ギアへ



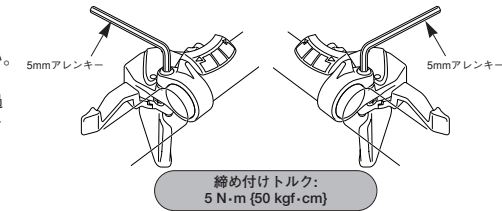
大ギア從小ギア方向への変速

1回の操作で大ギアから小ギア方向へ一段変速します。

例：最大ギアから中間ギアへ



＜リア側＞

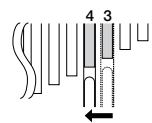
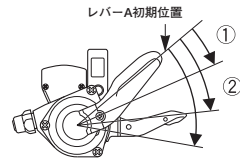


＜リア側＞

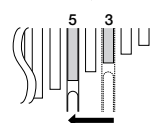
小ギアから大ギアへの変速

1段だけ変速する場合は①の位置まで操作し、2段分変速する場合は②の位置まで操作するという具合に、変速したい段数分のストロークを操作します。最高3段分一気変速まで可能です。

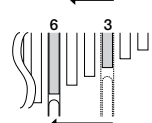
①：1段だけ変速
例：3段目から4段目へ



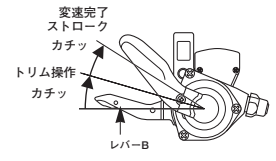
②：2段分一気変速
例：3段目から5段目へ



③：3段分一気変速
例：3段目から6段目へ

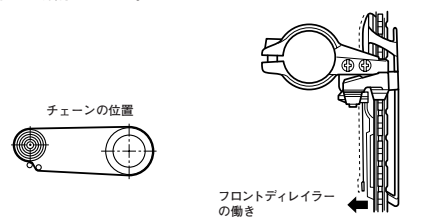


レバーBを操作すると、まずトリム操作あたりがカチッとあり、次のあたりが変速完了ストロークとなります。トリム操作後はトリム操作のあたりはなくなり、変速完了ストロークのあたりのみとなります。



トリム操作（音鳴り操作機構）

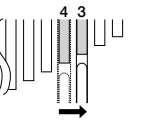
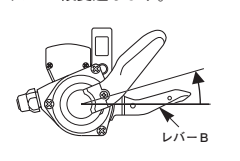
チェーンポジションがフロント大ギア、リア大ギアでフロントディレイラー内プレートとチェーンが接触し、音鳴りが発生した場合に行います。レバーBを軽く押す（カチッとあたりがある）とフロントディレイラーがわずかに小ギア方向へ移動し、音鳴りが解消されます。



大ギア從小ギアへの変速

1回操作して離すと、大ギアから小ギアへ1段変速します。

例：4段目から3段目へ



シフティングケーブルの取付け

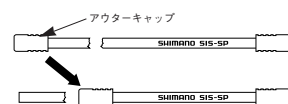
アウターケーブルの切断

アウターケーブルを切断する場合には刻印の反対側を切断してください。切断後の端面は、外側を真円に戻し、穴の内側を整えてください。



アウターケーブルキャップ

は、切断後も同一物を使用してください。



シフティングレバーユニット、インジケータース部の交換と組立

＜フロント側＞

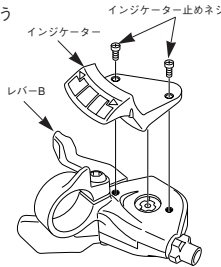
インジケータース部の交換と組立

分解及び組立は、インジケータース部の取り外しまたは交換時のみ行なってください。

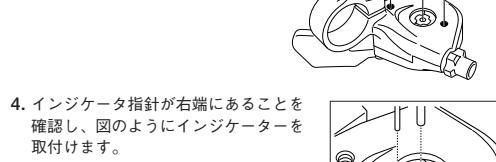
1. インジケータースを固定しているインジケータース止めビスを2本ともはずします。

締め付けトルク: 0.3 - 0.5 N・m (3 - 5 kgf・cm)

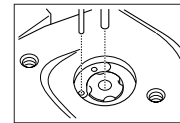
2. インジケータースユニットを図のように外します。



3. レバーBを2回以上操作して、レバー位置をローにセットします。



4. インジケータース指針が右端にあることを確認し、図のようにインジケータースを取付けます。



5. 作動を確認してください。正しく作動しない場合は3と4に注意して再度組み立ててください。

シフティングレバーユニットの交換と組立

分解及び組立は、ユニット部の交換時のみに行ってください。

1. フロントディレイラーのケーブル固定ボルト（ナット）を緩め、インナーケーブルを取付け時と同じ要領でシフティングレバーユニットから抜き取ります。
2. インジケータース部の交換と組立の1と2を行います。
3. シフティングレバーの取付けネジを3本ともはずし、図のようにシフティングレバーユニットをはずします。

締め付けトルク:
0.5 - 0.8 N・m (5 - 8 kgf・cm)

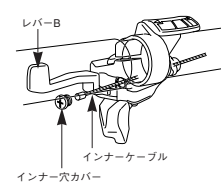


4. 組立はシフティングレバーユニットとブラケットの位置を合わせ、シフティングレバーの取付けネジで固定します。

5. インジケータース部の交換と組立の3~4を行います。

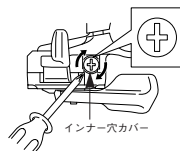
インナーケーブルの取付け＜フロント側＞

レバーBを2回以上操作して、レバー位置がローの位置にセットされているのをインジケータースで確認します。インナー穴カバーを取り外し、ケーブルを取付けます。



インナー穴カバーを図のように止まるまでまわして、取付けてください。これ以上まわすと、カバーのネジみぞを破損します。

締め付けトルク:
0.3 - 0.5 N・m (3 - 5 kgf・cm)



＜リア側＞

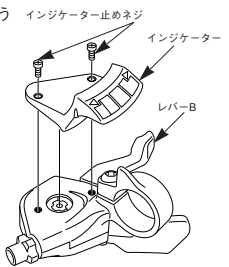
インジケータース部の交換と組立

分解及び組立は、インジケータース部の取り外しまたは交換時のみ行なってください。

1. インジケータースを固定しているインジケータース止めビスを2本ともはずします。

締め付けトルク: 0.3 - 0.5 N・m (3 - 5 kgf・cm)

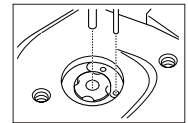
2. インジケータースユニットを図のように外します。



3. レバーBを9回以上操作して、レバー位置をトップにセットします。



4. インジケータース指針が左端にあることを確認し、図のようにインジケータースを取付けます。



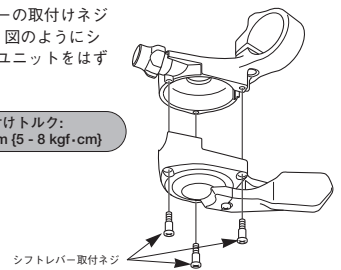
5. 作動を確認してください。正しく作動しない場合は3と4に注意して再度組み立ててください。

シフティングレバーユニットの交換と組立

分解及び組立は、ユニット部の交換時のみに行ってください。

1. リアディレイラーのケーブル固定ボルト（ナット）を緩め、インナーケーブルを取付け時と同じ要領でシフティングレバーユニットから抜き取ります。
2. インジケータース部の交換と組立の1と2を行います。
3. シフティングレバーの取付けネジを3本ともはずし、図のようにシフティングレバーユニットをはずします。

締め付けトルク:
0.5 - 0.8 N・m (5 - 8 kgf・cm)

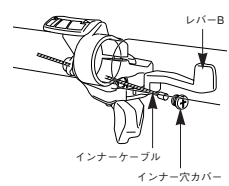


4. 組立はシフティングレバーユニットとブラケットの位置を合わせ、シフティングレバーの取付けネジで固定します。

5. インジケータース部の交換と組立の3~4を行います。

インナーケーブルの取付け＜リア側＞

レバーBを9回以上操作して、レバー位置がトップの位置にセットされているのをインジケータースで確認します。インナー穴カバーを取り外し、ケーブルを取付けます。



インナー穴カバーを図のように止まるまでまわして、取付けてください。これ以上まわすと、カバーのネジみぞを破損します。

締め付けトルク:
0.3 - 0.5 N・m (3 - 5 kgf・cm)

